

## 幸福度について

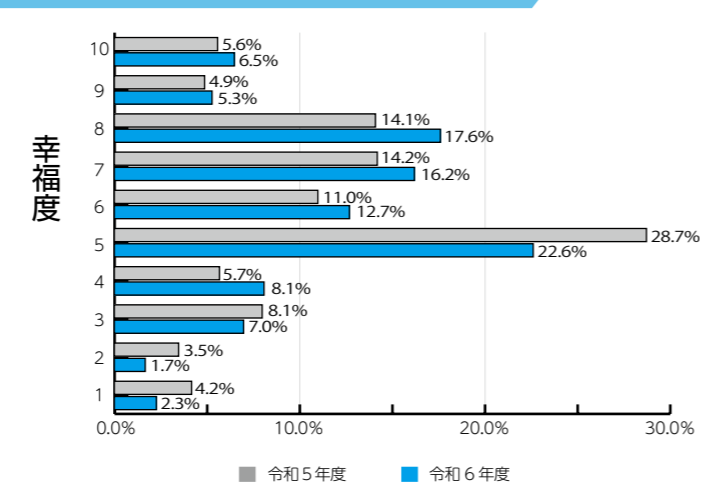
### ◆幸福度（1～10段階評価）について

「とても不幸」を1点、「とても幸せ」を10点として、現在どの程度幸せであるかをお伺いしたところ、不幸でも幸福でもない中間の「5」を回答した方が多い結果となっています。

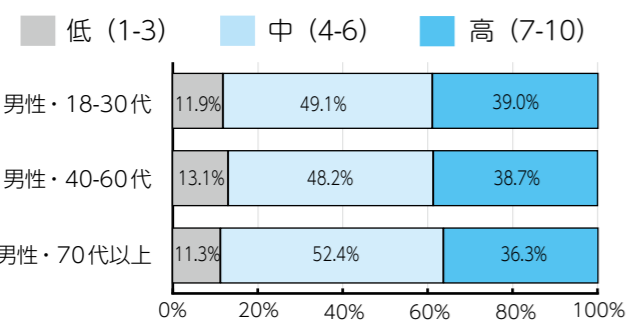
また、幸福度（1～10段階評価）の「1～3」を幸福度「低」、 「4～6」を幸福度「中」、 「7～10」を幸福度「高」と分類し、幸福度を性別と年代別でみると、女性の方が幸福度において全体的に高い傾向となりました。

※幸福度の割合には無回答は含まれていません。

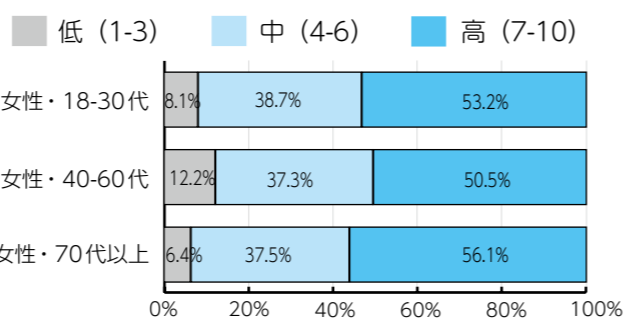
令和6年度と令和5年度 幸福度比較表



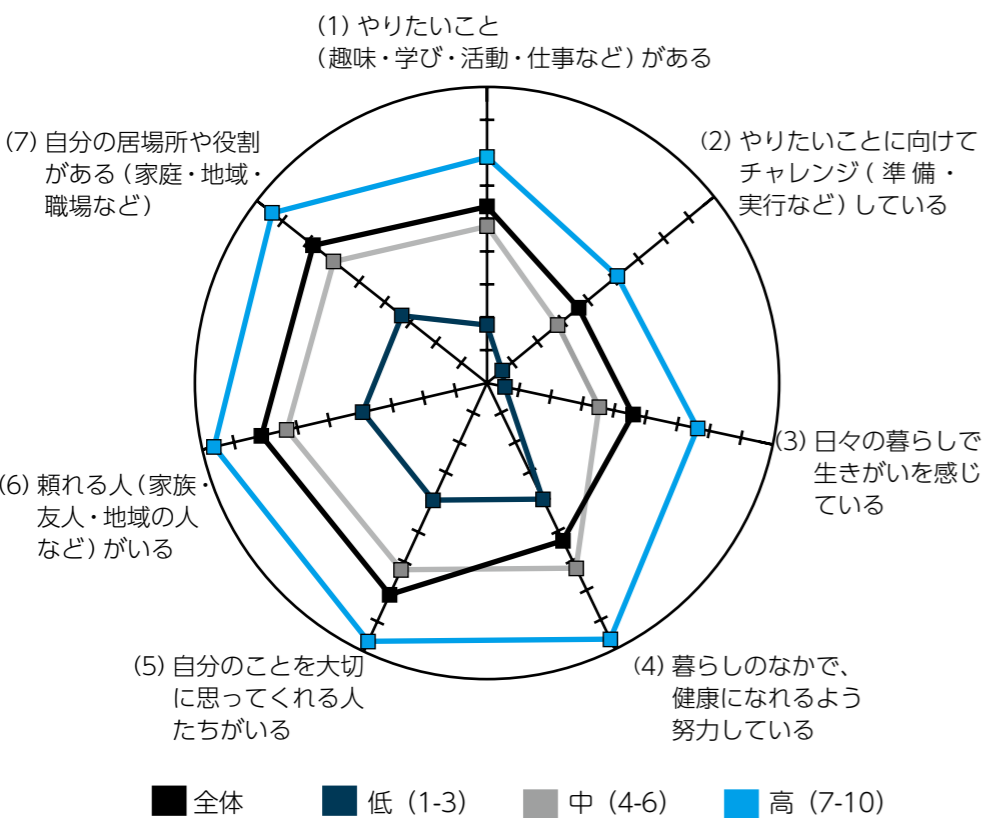
年代別・性別の幸福度（男性）



年代別・性別の幸福度（女性）



幸福度と6つの項目の関係



### ◆7つの項目と幸福度の関係

幸福感につながる7つの項目について分析したところ、7つの項目の数値が高いほど幸福度が高いという傾向がわかります。 ※幸福度は幸福度（1～10段階評価）を「高」、「中」、「低」に分類したうえで分析しています。

# 令和6年度 市民意識調査の結果



市民の皆さまへー市民意識調査協力へのお礼ー

この度、市民意識調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。回答率は昨年より約3%増え、42.9%となりました。回答結果を今後の市政運営に活かし、「幸福度全国ナンバー1」を目指して頑張っており、市民意識調査結果を公表するにあたり、「市長公式YouTube」でも調査結果に対する私の考え方などを公開しています。市のホームページ「市長室」からご覧ください。（※左の二次元コード読み取りからご覧ください）

仙北市長 田口 知明

## 調査目的および実施概要

### (1) 調査の目的

仙北市を幸福度全国ナンバー1とするため、市民の日常生活と意識・行動を明らかにし、その結果を施策立案の基礎資料や、施策展開のための客観的データとして活用することを目的としています。

### (2) 調査の内容

- 幸福度
- 地域への愛着やあるべきまちの姿
- 普段の活動や暮らし
- 市の施策への満足度・重要度

### (3) 調査の設計

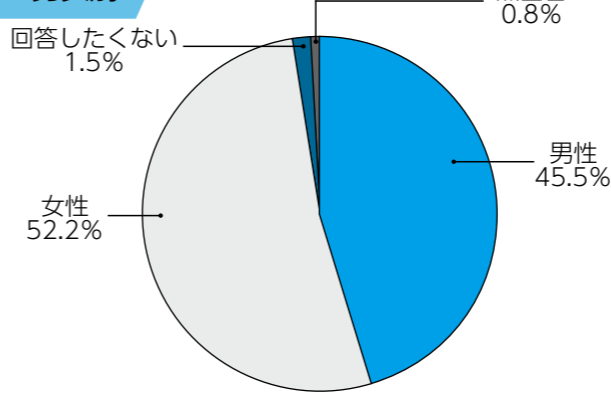
- 調査対象：令和6年4月8日現在で市内に居住する満18歳以上の男女個人
- 標本数：3,000人
- 抽出用法：18歳以上の各年代別の地区別人口の構成比に応じて無作為抽出
- 調査方法：郵送による調査票の配布（郵送およびインターネットによる回答）
- 調査期間：令和6年5月2日(木)～5月20日(月)

### (4) 回収結果

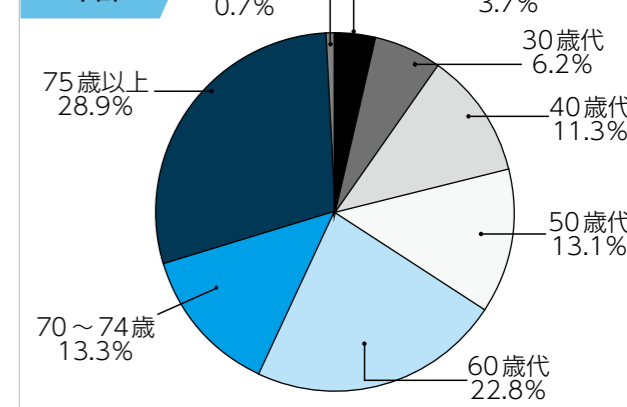
- 有効回答数：1,288人（有効回答率42.9%）

## 回答者について

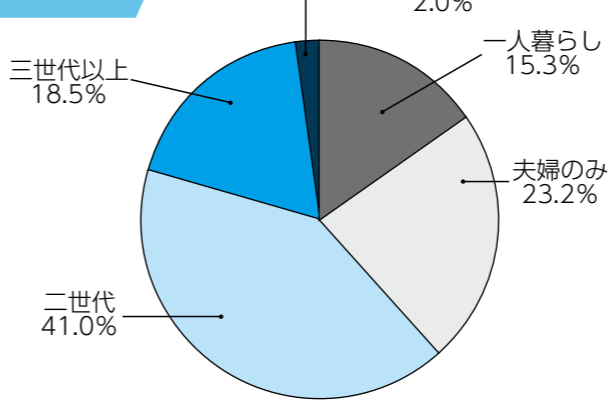
### 男女別



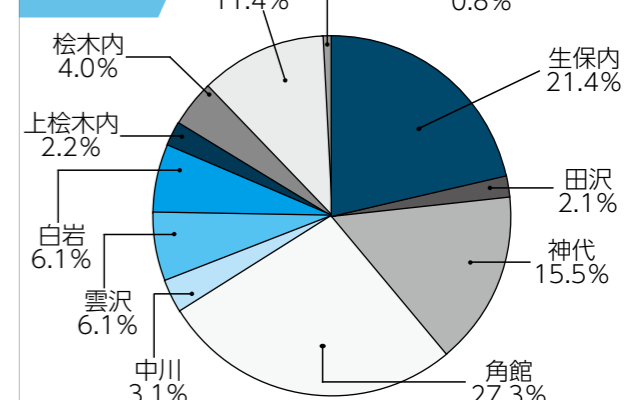
### 年齢



### 家族構成

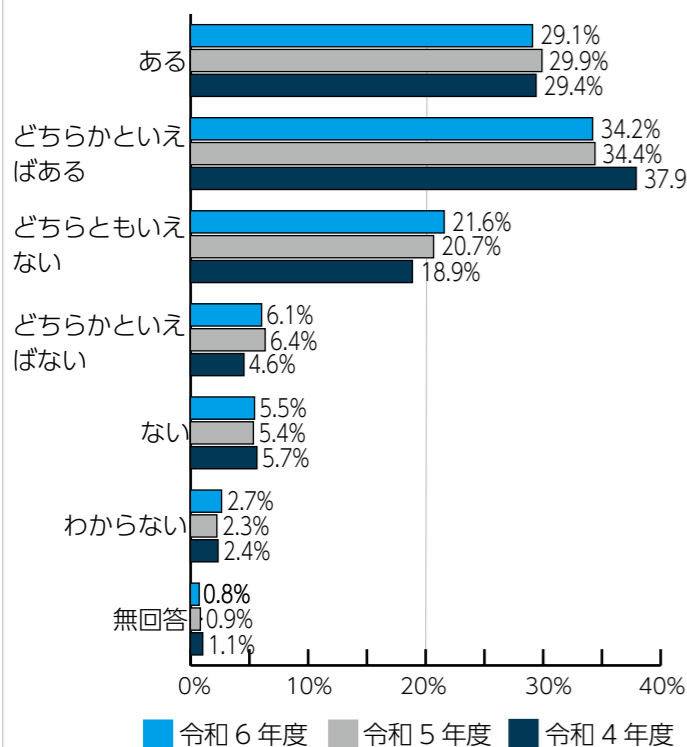


### 居住地域

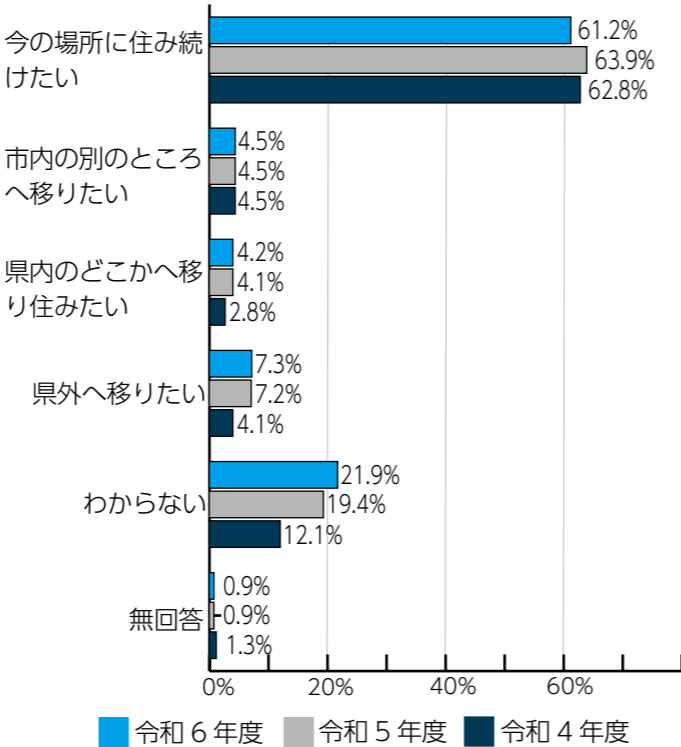


## 住んでいる地域への愛着など

### 住んでいる地域への愛着はありますか

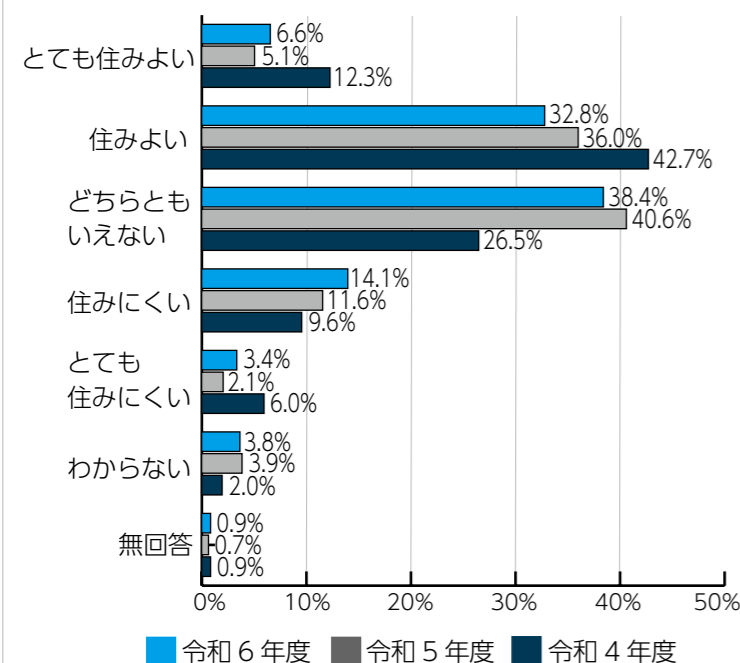


### これからも仙北市に住み続けたいと思いますか

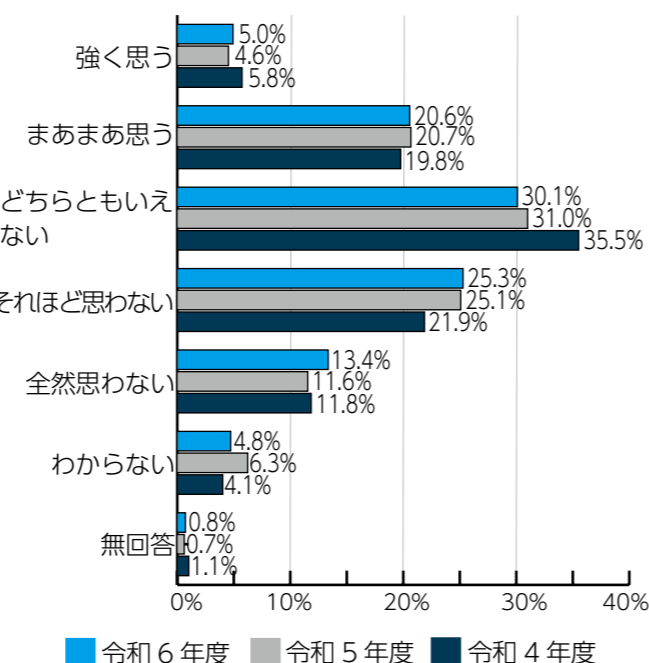


※令和4年度は「別のところへ移りたいが移れない」の項目があり12.4%でした

### 仙北市の住みやすさについてどう思いますか



### 自分の家族や友人へ 移住・定住を勧めたいと思いますか



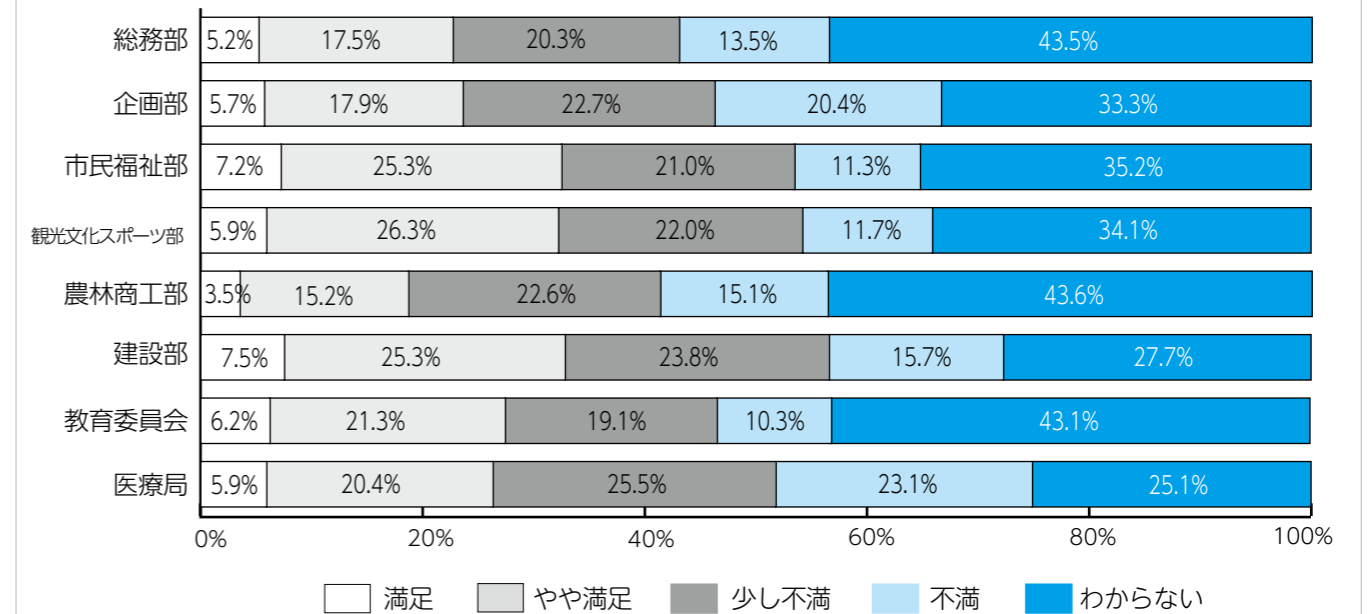
「住んでいる地域への愛着」、「これからも住み続けたいか」、「移住定住を勧めたいか」という質問については、多少の上下はあるが、ほぼ横ばいの結果となりました。  
「住みやすさ」の質問については、2年前に比べ「住みよい」の割合が減少し、「住みにくい」の割合が増加しています。

## 令和6年度 市民意識調査の結果

### 施策の満足度と重要度

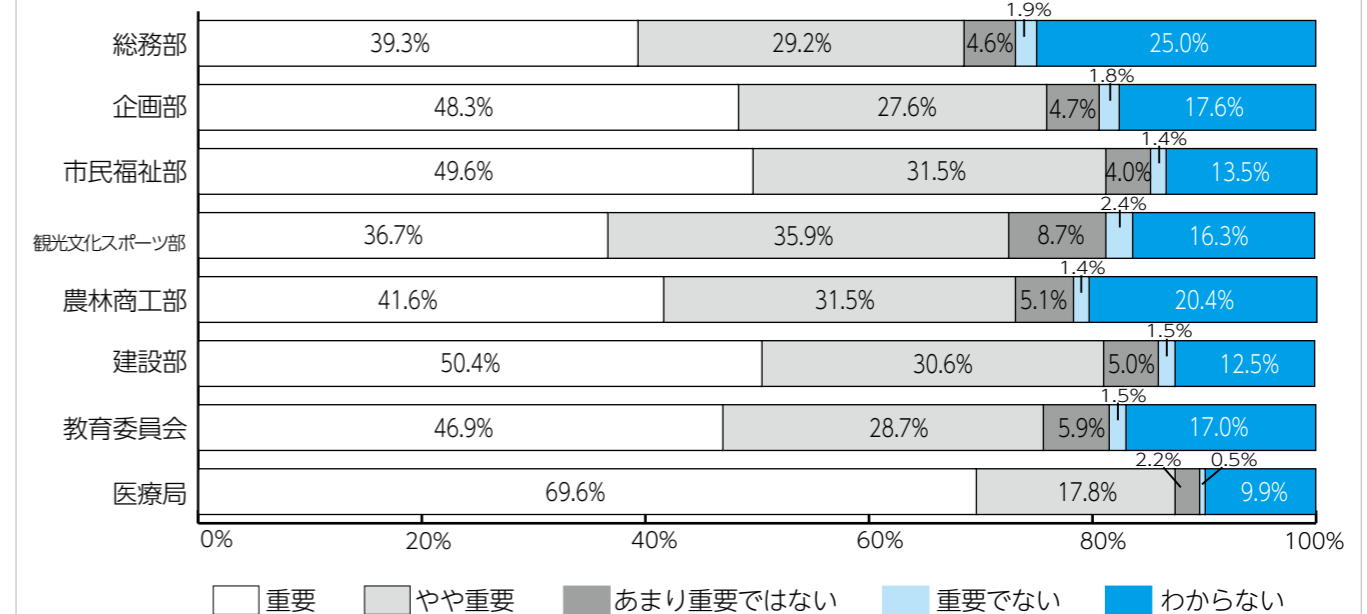
第2次仙北市総合計画（改定版）で定めた施策に対して現在の満足度と今後の重要度を伺い、8つの部局にまとめて集計・分析しました。

#### 施策の満足度



市民の方が直接関係する機会が多い「市民福祉部」や「建設部」、目にする機会が多い「観光文化スポーツ部」の施策の満足度は高い傾向が見られました。また、市民の方が直接的に関係する機会が少ない部局の施策については「わからない」という回答が多い傾向が見られました。

#### 施策の重要度



施策の重要度は、市民生活に直結している施策が高い傾向にあり、特に医療分野の突出した高さが目立つ結果となりました。